

令和5年度 学校評価報告書

学校名	三田市立長坂中学校
-----	-----------

1 学校教育目標

<p>夢の実現に向けて、自ら考え、行動する</p> <p>こころ豊かな生徒の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命と人権を大切にし、互いを思いやり尊重し合う生徒の育成 ・未来への明るい展望を持ち、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を基盤として、自ら考え判断し、行動できる実践力のある生徒の育成
--

2 今年度の学校重点目標

<ul style="list-style-type: none"> ①生徒理解を深め、一人ひとりの多様な能力や個性を伸ばすため、全教職員が協働し、教育課題に取り組む。 ②学習の場にふさわしい環境づくりを進め、教育課程及び教育活動の充実を図り、活力に満ちた魅力ある学校づくりに取り組む。 ③家庭、地域社会と協働し、生徒との心のふれあいを大切にした地域に信頼される学校づくりに取り組む。

3 総合的な自己評価

<p>重点課題の解決に取り組むことで、多くの項目で肯定的な回答割合の増加が見られた。生徒が主体となる教育活動を積極的に設け、朝の時間を読書に位置付ける等、表現力育成の充実を図った。生徒は学校生活を楽しみ、規律を守り前向きに取り組んでいる。教職員の更なる資質向上に向けて計画的に校内研修を実施し、生徒の思考力や創造力が高まる授業を目指す。また、学びをさらに深めるため、授業内で質問タイムを設定する等、生徒が分からないところを質問できる時間を確保する。他、保護者や地域と連携して家庭学習の習慣を確立することが必要であるため、継続して学校園所連携の強化やSC、SSWとの連携を図りながら、粘り強く取り組んでいく。</p>

4 総合的な学校関係者評価

<p>学校行事の参観機会が十分用意でき、各種通信やホームページ等で常に学校情報を発信することで、保護者や地域とのつながりを深めることができた。また、継続的に取り組んでいる学力向上へ向けた取り組みや家庭学習習慣の定着が一層推進できるよう、保護者や家庭との連携の強化と、学習環境の充実が必要である。教職員は平素から生徒とのつながりを大切にし、より信頼される関係をつくることで生徒一人ひとりの対応をきめ細かにしていく。また、不登校生への対応の拡充を図り、環境を整えていく。常に学校と保護者、地域との連携を密にしながら、すべての生徒が安心、安全に過ごすことができる学校づくりを目指していく。</p>

5 評価結果

自己評価				学校関係者評価
分野・領域	評価項目(取組内容)	評価結果及び分析	改善の方策	学校関係者評価委員会の意見
学力向上と学習指導	学習規律の徹底、生徒の表現力の育成を図り、「分かる授業」を創造し、生徒の学習意欲の向上を図る	全体道徳や朝読書の時間による表現力向上に成果。	学校全体で課題解決型授業の構築を図り、学習意欲の向上を図る。	生徒が「分かる授業」の推進。自ら質問できる雰囲気づくりや表現力の強化
	学校園所、家庭と連携した学習習慣づくりの推進	家庭学習習慣の定着に課題	学校園所・家庭と連携した取組の強化	「予習・復習」の重要性を伝える工夫
生徒指導	「学校いじめ防止基本方針」に基づき、問題行動やいじめなどの早期発見と、迅速かつ組織的な生徒指導の推進	SC・SSWとの協力体制、関係機関との迅速な対応に成果	情報共有による組織的対応の充実と継続。報告・連絡・相談の徹底。	家庭との連携をさらに強化し、いじめ・不登校等の早期発見・未然防止を推進
	生徒の共感的理解に基づいた教育相談の充実とコミュニケーションスキルの向上を図る	計画的な教育相談日の設定ときめ細やかな指導に成果	教職員研修の充実を図り継続した生徒理解を推進。関係機関と緊密な連携	先生と信頼関係を築き、生徒が生き生きと安全安心できる学校づくりの推進
開かれた学校づくり	キャリアノートの活用推進と学校園所連携による、学びの連続性を大切にしたい安心して学べる学習環境づくり	系統的なキャリア教育の推進に成果	小中連携の充実と学びの連続性を意識した取り組みの推進	ホームページを活用した教育活動の発信や参観機会を確保し連携を図る
	より良い教育環境づくりと多様な教育力の活用の推進	校内の環境整備と外部人材の活用成果	オープンスクール等、小中一貫を意識した生徒の学習活動の取組みの推進	生徒の地域活動への参加の工夫と充実を期待
資質向上の取り組み	多様な課題に対し実践的な指導力を身に付け、チームとしての職務遂行能力の育成と課題への対応力向上を図る	計画的な研修の充実と授業研究の積極的な取り組みに成果	研修の計画・実践・改善・見直しのPDCAサイクルの確立と強化	「分かりやすい授業」の創造や工夫に努め生徒理解や指導力向上を今後も推進
	OJTを進め、学び合う良さを実感し学び合う質を高める	効率的時間運用と学びに成果	教育課程を見直し、職務に専念できる時間を確保する	健康で活力ある教職員の育成推進
安全管理	「心に響く」道徳教育・人権教育の推進と充実	道徳教育の充実成果	系統立てた全校道徳の確立	地域と協働し外部人材の活用の推進
	危機管理の徹底と迅速・丁寧な組織的対応の推進	施設の老朽化に課題	点検の充実と危機管理意識の向上	地域安全パトロールや見守り活動の強化

6 学校自己評価の実施状況について

時期	内容
4月	学校評価計画について共通理解
7月・10月	中間評価として意見交換 オープンスクールでアンケート実施
1月	自己評価及び生徒・保護者対象アンケート実施
1月～2月	アンケート結果の総括と改善策について協議

※学校自己評価…外部(児童生徒・保護者・地域等)アンケートの実施を含む

7 学校関係者評価委員会の活動について

時期	内容
6月	前年度の学校評価の説明及び今年度の取り組み計画について説明
9月～11月	体育大会・文化祭・オープンスクールの視察と意見聴取
12月	2学期の教育活動について書面開催
2月	アンケート及び自己評価結果等について意見聴取及び学校関係者評価

8 学校評価の公表について

時期	手段	内容	添付
4月	学校便り ホームページ	前年度の学校評価結果を踏まえ、今年度の取り組み等について説明と配布。ホームページに掲載	
3月	評価報告 ホームページ	自己評価結果及び学校関係者評価の結果及び今後の改善策を記載し配布。ホームページに掲載	